

IP Phone 78XX、88XX、プロンプトなしのログイン画面のトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[78xx IP Phone の場合](#)

[88xx IP Phone の場合](#)

概要

このドキュメントでは、IP Phone 78XXおよび88XXがMobile and Remote Access(MRA)ログイン画面を表示しない場合のトラブルシューティング方法について説明します。

前提条件

要件

モバイルおよびリモートアクセスに関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- バージョン 11.0(1) 以降の IP Phone ファームウェア
- Video Communication Server(VCS)またはExpresswayソフトウェアバージョンX8.6以降
- 証明書にサブジェクト代替名(SAN)としてドメイン名があることを確認します

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

IP Phoneは、図に示すように、これらのシナリオでは「Phone is registering」ステータスのままになります。



この時点で、電話機はCisco Unified Communication Manager(CUCM)に登録するために、TFTPの割り当てまたは設定を待機します。

パブリック ネットワークを使用しているため TFTP は割り当てられず、設定したとしてもインターネットから到達できない企業ネットワーク内にあるためにアクセスできません。

以下に示すのは、この条件を引き起こす 2 つのシナリオです。

シナリオ 1.

- IP Phone のファームウェア 11 へのアップグレード後
- CUCM 到達可能ネットワークからパブリック ネットワークに移行

シナリオ 2.

- IP Phone のファームウェア 11 へのアップグレード後
- 企業ネットワークに移行
- ローカルでの CUCM への IP Phone の再登録
- パブリック ネットワークに移行

注：MRA 登録モードに移行するために、IP Phone から TFTP 設定を削除します。この操作を行わないと、電話機はMRA登録モードに移行しません。

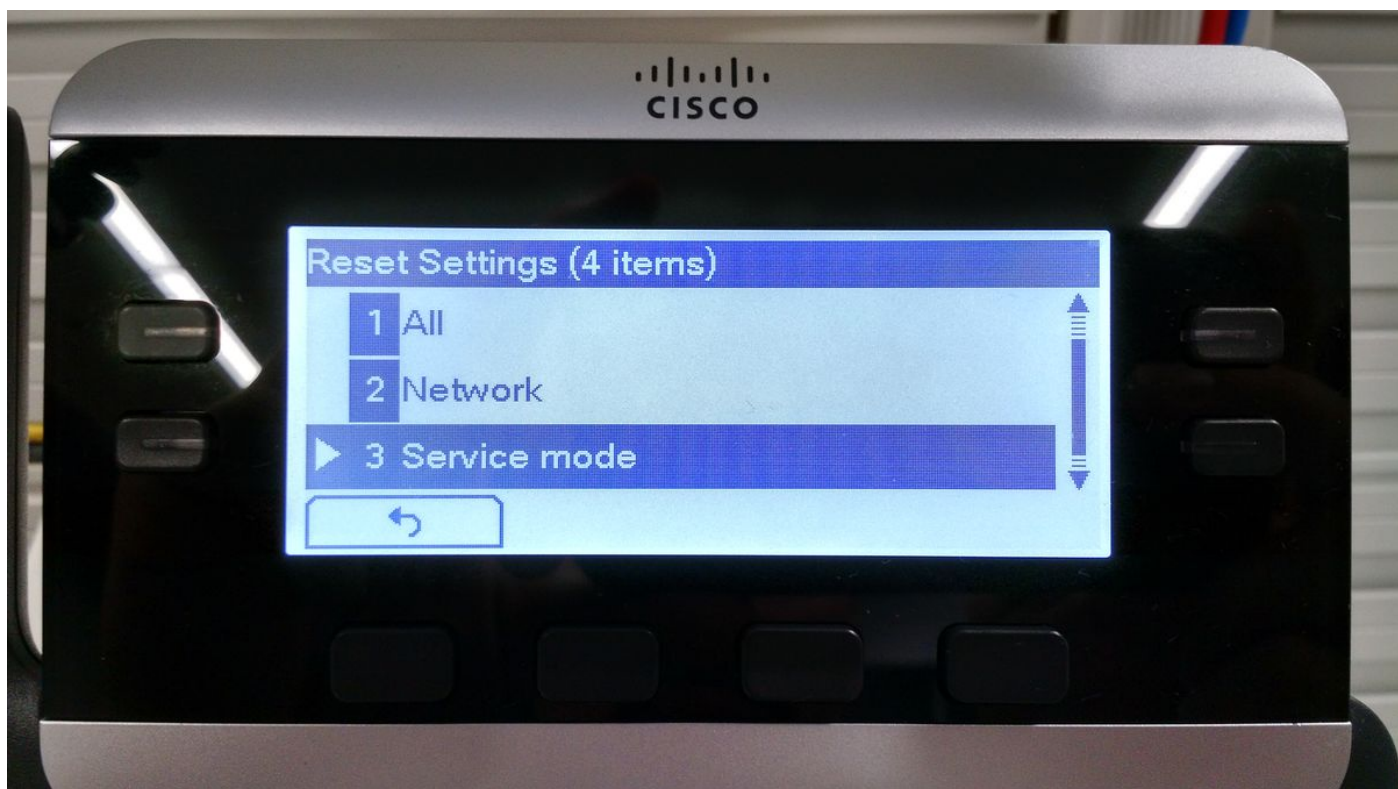
解決方法

MRA ログイン画面を表示するには、[Service mode] をリセットします。

78xx IP Phone の場合

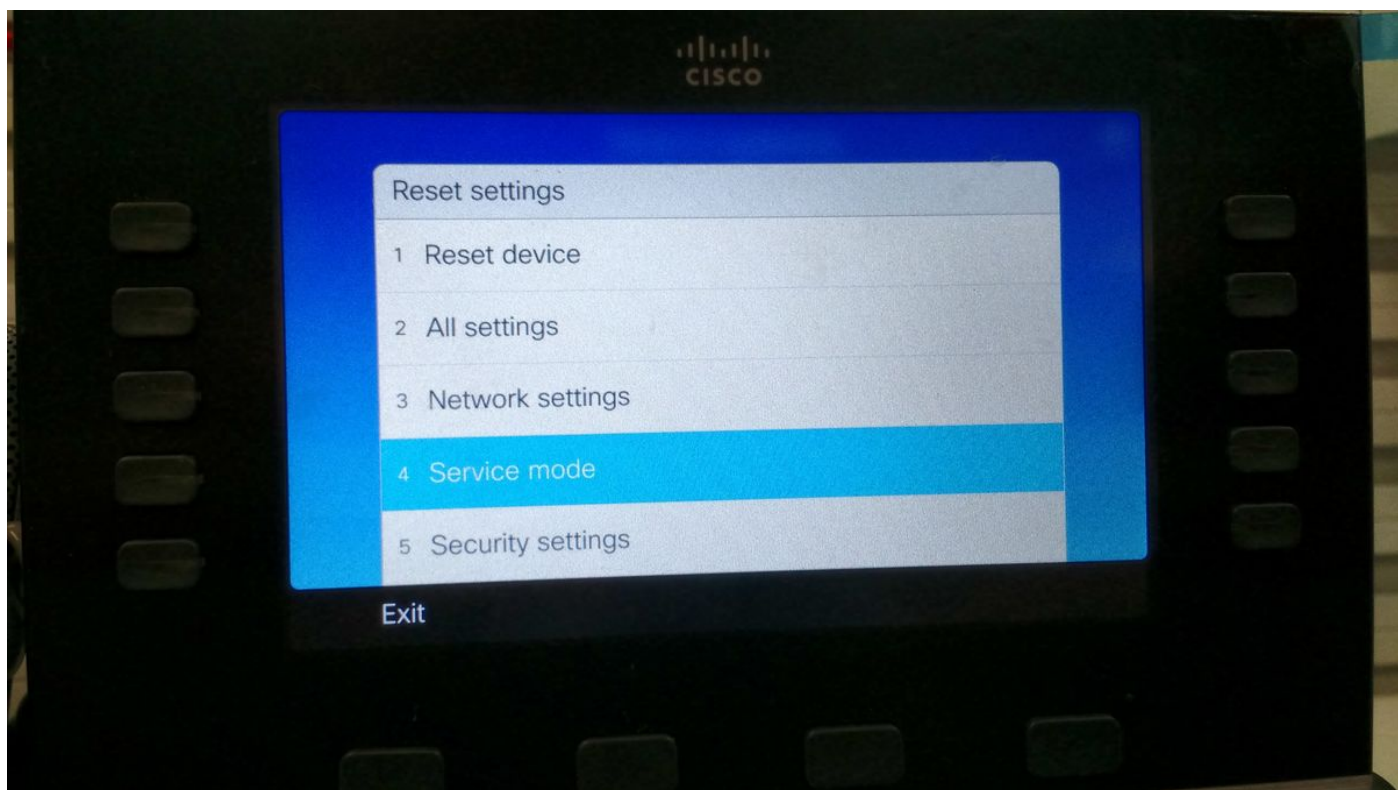
図に示すように、[Settings] > [Admins Settings (5)] > [Reset Settings (4)] > [Service Mode (3)] >

[Reset]に移動します。

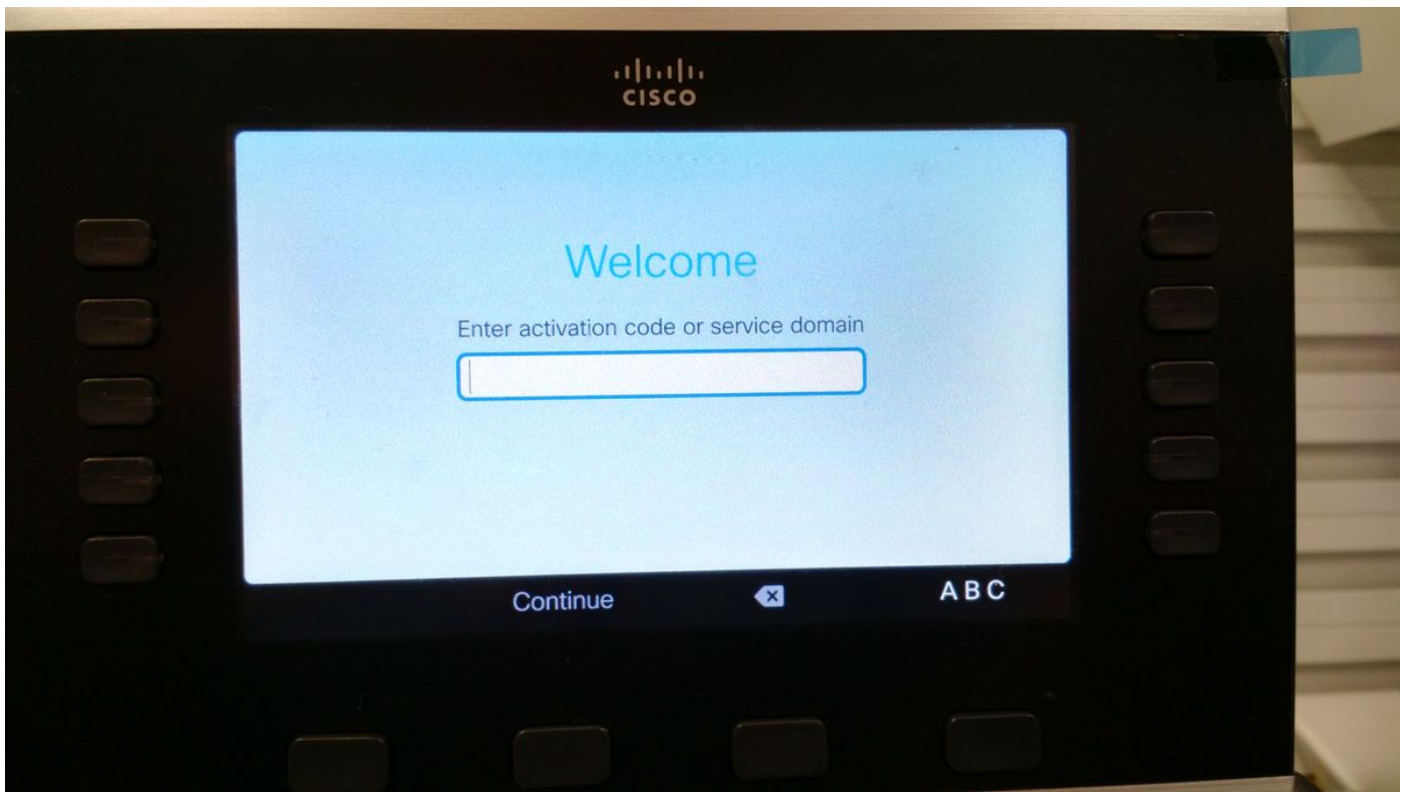


88xx IP Phone の場合

図に示すように、[Settings] > [Admins Settings (6)] > [Reset Settings (4)] > [Service Mode (4)] > [Reset]に移動します。



サービスリセット後、電話機がリブートし、MRAログイン画面が表示されます（図を参照）。



図に示すように、ドメインを入力し、クレデンシャルを入力して、MRA経由で電話機を登録します。

注：DHCPにTFTPが提供されているネットワークに電話機を接続すると、IP Phoneがノイズを発生させ、エンタープライズ登録モードに移行したことを通知するアラートを表示します。

